

市誕生10周年と新庁舎完成を祝う

田村市合併10周年記念式典・田村市新庁舎落成式が3月1日、新庁舎1階の多目的ホールで開かれ、市内の各種団体や近隣市町村の代表、市関係者など約160人が出席しました。

式では、アトラクションとして大鎧神社の夫婦獅子舞が披露されました。国歌斉唱の後、富塚市長が「10周年を節目とし先人が築いた歴史や伝統、文化を継承し、人と人の絆を深め、田村市の復興とまちづくりに全力で取り組んでまいります」と式辞を述べました。長谷川市議会議長あいさつの後、鈴木正晃副知事、鈴木和夫県市長会副会長、荒井広幸参議院議員が祝辞を述べました。

庁舎建設工事に尽力された4つの施工業者に感謝状が手渡されました。

- 設計・監理業務……株式会社昭和設計
- 建築主体工事……安藤ハザマ・富士・三和 特定建設工事共同企業体
- 電気設備工事……東新電気・三輪電設・三浦電設特定建設工事共同企業体
- 機械設備工事……大和田・仲和特定建設工事共同企業体

また、庁舎2階のインフォメーションコーナーでは「田村市10周年の歩み」と題した写真展、庁舎1階のロビーには市内各地の愛好者が作った約4千個のつるし雛が展示され、訪れた人が目を留めていました。

田村市は平成の大合併に伴う新市では県内初で、県内11番目の市として誕生しました。



料理の腕前上がったぞ！



大越公民館で本年度の最終回となる「男の料理教室」が2月20日に開かれました。食生活改善推進員の方々に協力をいただき、栄養バランスの取れた料理作りの5回目は、「高級カツ丼」に挑戦しました。

大きな豚ヒレ肉を一人分に切って油でカツを揚げるところから始め、ワカメのみそ汁、小松菜のじゅうねんよごしを作りました。完成後は記念写真を撮り、自作料理を食べながら本年度に作った料理や、新年度に作ってみたい料理などについて会話を弾ませました。

特色ある取組を報告



田村市教育実践報告会が2月19日、市文化センターで開かれ、市内の幼稚園や小・中学校の教職員、保護者など約350人が参加しました。常葉中学校区の幼・小・中連携ステップアップ事業、美山小学校の学力向上への取組、市内小・中学校における歯科指導の実践、学校教育指導委員の研究実践など、子どもたちをよりよく育てるための特色ある取組が報告されました。

意見交流では、参加者から指導法についての質問や、「とても参考になる」「ぜひ自分の授業で実践したい」などの感想が寄せられました。

末永くお元気で 先崎安信さんに百歳賀寿

滝根町神俣の先崎安信さんが、3月20日に満百歳を迎えられました。県から県知事賀寿と記念品、富塚市長から賀寿と祝金が贈られました。また、市社会福祉協議会と市老人クラブ連合会からそれぞれ賀寿と祝金、滝根町老人クラブ連合会から賀寿、神俣梵天川寿会から祝金が贈られ、しっかりと受けられました。長寿の秘訣は「体をよく動かし、好き嫌いなくなんでも食べる」とのことです。

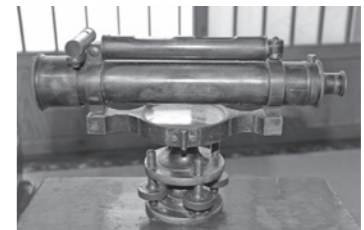


有形文化財1件を新たに指定



市教育委員会では、船引町荒和田地区に所在する「伊藤直記関係資料一括」を市有形文化財として新たに指定しました。市指定文化財はこれで、116件(有形文化財は35件)となりました。

伊藤直記(1826-1915)は、卓越した測量技術を持ち、明治期に安積疏水事業や県内道路建設などに尽力した人物で、その活躍を裏付ける資料として数々の辞令や測量器具などが残っています。



夜警に尽力の子どもたちに感謝状

滝根町子ども会育成会連絡協議会(長谷川正光会長)が2月28日、集団夜警を行っている2つの子ども会員28人に記念品、小学校を卒業する6年生5人に感謝状を贈呈しました。感謝状は、安藤義明田村消防署滝根分署長と永井弘純田村市消防団滝根地区隊長の連名で贈られました。

子ども会の集団夜警活動は29年間継続している事業で、本年度も少子化や交通事情など厳しい状況の中、保護者が協力し、子どもたちがそれぞれの地域で「火の用心」を呼びかけました。



聴く人々を魅了した独奏会



田村市文化協会常葉支部の10周年記念事業「浦山純子リサイタル」が3月1日、常葉公民館大ホールで行われました。

このリサイタルは、浦山さんのお父さんが常葉町出身という縁で実現しました。来場した約350人の観客は、世界で活躍する浦山さんの華やかなピアノの音色に酔いしれ、アンコール曲の「さくら」で涙する人が出るなど、感動に包まれたリサイタルを堪能しました。